

1.17 「つながる」

～これまでも
これからも～

今年もこの日がやってきました。1月17日は阪神・淡路大震災の日であり、NVNAD発足の原点となる日でもあります。28年目を迎えた今年も、それぞれがそれぞれの場所で色んな想いに向き合う・・・そんな日でもあります。

西宮震災記念碑公園には、早朝より理事長の檜垣、副理事長の渥美、数名の学生さんと当団体スタッフが追悼式に参加し、現地に来られない方も思いを馳せることができるよう、今年で3年目となるオンライン生配信をYouTubeにて行いました。発生時刻の5:46には遺族の方々や関係者とともに黙とうを捧げました。



また当日の10時からは、今まで当団体とゆかりのある皆さまとオンライン交流会を行いました。各地の被災地の皆さま、地域の皆さま、ボランティアさん、学生さん等、画面上ではありますが多くの方とつながることができ、貴重なひとときを共有することができました。

これからも原点の思いを忘れず、前を向いて進んでいく所存です。今後ともNVNADをどうぞよろしくお願い申し上げます。

- c o n t e n t s -

- P 1 . . . 1.17 「つながる」 ～これまでも これからも～
- P 2 . . . Rijicho's column / 人吉市・球磨村の水害アルバム修復
- P 3 . . . 「3年ぶりの被災地 野田村」 / おやこ防災講座
- P 4 . . . Vision1.17 / 大阪大学人間科学部創立50周年記念事業
- P 5 . . . 防災パーク@そねちか / 親子ぼうさい教室 / 小学生マップコンクール
- P 6 . . . KSN交流会 / 子ども防災クラブ / グローバルビレッジフェス
- P 7 . . . トルコ地震支援のための緊急募金 / Nうごき・Nごよみ
- P 8 . . . 会員・寄付者・募金者のみなさま / 大阪マラソン2023 / 編集後記

Rijicho's column

《2月のご挨拶》

まだまだ寒い日が続いておりますが、皆さんお変わりありませんでしょうか。早いもので、阪神・淡路大震災から28年が過ぎました。1月17日早朝には、渥美副理

事長やスタッフとともに西宮震災記念碑公園で行われた追悼行事に参加させていただき、その様子をライブ配信いたしました。3月には東日本大震災から12年目を迎えますが、私たちは過去の災害の記憶やそこから得た教訓を決して風化させることなく、次の世代に伝えていかななくてはなりません。

「誰もが助かる社会」の実現は一朝一夕に叶うものではありませんが、「防災・減災」の具体的な行動を地元西宮から全国に広げていきたいと考え、昨年「まちごと防災セミナー」の準備を進めてまいりました。今年から実際に地域に出かけて、自治会やまちづくり協議会、老人クラブやPTAなど、地域のなかで活動しておられる皆さんとご一緒させていただきたいと考えております。「セミナー」とは銘打っていますが、定型的なものではなく、皆さんとご相談させていただきながら、地域の歴史や実情にあわせて、オーダーメイドの形で、それぞれの地域に応じた「備え」のあり方を話し合ったり、具体的なアクションに繋げていただく一助としてご活用いただきたいと思います。

よろしければ皆さんのお住まいの地域でもPRしていただき、「うちのまちでもぜひ。」とのご要望を事務局までお寄せいただければ幸いです。

(NVNAD理事長 檜垣龍樹)

「あきらめていた思い出が蘇りました。」

人吉市・球磨村の水害アルバム修復

NVNAD理事 萩野茂樹

人吉市と球磨村で水害の被害に遭われたご家族のアルバムの預かり2年が経過しましたが、ようやくアルバムの修復が出来上がり、2022年12月17日に熊本を訪問し、作業に関わった多くのボランティアを代表し直接アルバムをお渡ししました。

写真修復作業とは、水没したアルバムから写真を取り出し、泥を落とししたあと、水で溶けた画像をエタノールできれいに拭き取り、元の順序どおり新しいアルバムに入れて持ち主にお返しします。今回はコロナ禍でもあり遠隔地でできる支援は無いかと探していたところ、知り合いの報道関係者が人吉市で取材した際「泥まみれのアルバムの修復ができないか？」との相談を受け、数冊のアルバムを持ち帰って来たことが始まりです。



人吉市の大柿孝子さん(中央)の仮設住宅にお届け
左:萩野、右:静岡大学で写真修復に携わった上田くん

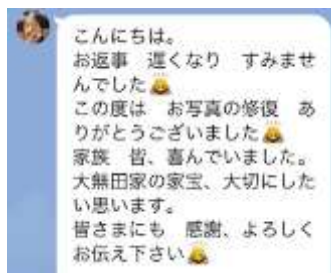


津市での写真修復の様子

このアルバム修復を通じて、災害に遭われた方に少しでも寄り添い、元気づける事ができたのなら大変嬉しいことです。「あきらめていた写真が蘇りました。家宝にします」とのお言葉もいただき、感激しています。

最初のアルバムを修復し

人吉市にお届けしたところ、それを聞かれた方から修復の希望が寄せられ、多くのご家族のアルバムが宅配便で届きました。それを津市ボランティア連絡会、西宮市社会福祉協議会のボランティア、静岡大学学生防災ネットワーク、そしてわが日本災害救援ボランティアネットワークなどが各地で協働しながら修復を進めてきました。アルバムは、ご家族単位で修復を進めます。すると、結婚式、お子さん、お孫さんの誕生、入学式や運動会。ご家族の幸せな様子を見ながら作業していると、いつの間にか親戚のような気がしてきます。



写真を修復して頂き
昔の思い出を見る事が出来て
感謝しかありません
諦めていた分 嬉しさも倍増
です。
これも ボランティアの皆さま
のおかげだと思います
大切なお時間と思いを 私ども
に頂き ありがとうございます

人吉市の大無田純子さんからのLINE

「3年ぶりの被災地 野田村」

NVNAD理事 米山清美

コロナ禍で迷惑をかけてはいけなに行けていなかった野田村に、昨年末3年ぶりに行ってきました。久慈駅から新しい道路を通過して向かった野田村。夜でしたが、さしずめ故郷に帰ってきたような気持でした。

野田村には東京学芸大学教育学部で仕事をした後に行きましたが、そのオファーを頂いた元弘前大の先生は野田村でお目にかかっている、学生たちに防災アニメの制作意図や子どもの現状などについて話してほしいとのことでした。彼らの率直な感想はその後先生から送っていただきましたが、対面で話をしてよかったと思いました。

そして野田村行きの目的は、野田中学校とは被災地コンサートの、野田保育所とは防災アニメの、それぞれの打ち合わせでした。前者はNVNAD主催で、音楽を通して繋がろうと2018年度に始まりました。後者は講座の中で、野田村保育所の子ども達に防災アニメを観てもらいます。どちらも今回はオンラインで野田村と西宮を結びます。中学校では全校生徒(89人)によるクリスマスコンサートを見学しました。



久慈駅前にできた図書館



整備された下安家(しもあつか)地域



津波の高さを示す水門



全校合唱の様子

生徒たちはとても楽しそうで、かつ真剣でした。彼らの中には西宮訪問生徒の兄弟姉妹や、発災当時から知る(当時2歳の)生徒もいましたが、変わらぬ野田っ子の素直さに接して嬉しかったです。

今回は短い滞在でしたが、これまでお世話になった方などを尋ねたりしました。野田村を歩いていると「えっ、来ていたの?」と言われることもあり、少し風景は変わりましたが、そこに住む人々の温かさは変わらないと思いました。このように、子どもを真ん中にした交流が細くても長く続き、未来につながることを期待しています。今回打ち合わせた被災地コンサートは2月11日に、防災アニメ講座は2月18日に実施されます。

おやこ防災講座

12月10日(土)西宮市東山台コミュニティ会館「安心プラザ」にて、第3回おやこ防災講座を開催しました。NVNADオリジナルの防災アニメを子どもと見るときに保護者や大人が知っておいてほしいことや、子ども達にも伝えたいことを当団体の理事である米山が直接お伝えする講座です。この日はオンラインで5組の参加者があり、会場の来場者と交流しながら進めました。

もっともっとたくさんの親子にお伝えし、いざという時に助かる方法を一緒に考えていきたいと思っています。



オンラインと対面で行われた講座



おやこ防災講座は(公財)コープともしびボランティア振興財団様より助成を頂いています。

Vision 1.17

このコラムでは、今回から、NVNADで活動しながら、研究者として考えてきた事柄についてご紹介していきたいと思います。理論やデータを緻密に議論していくのではなく、NVNADの様々な活動やこれまでお世話になってきた被災地の皆様の顔を思い浮かべながら、具体的な場面と合わせて紹介していきます。

ただ初回ですので、少し大きな話から入りましょう。私の専門は、グループ・ダイナミクスという人々の集まりの動きを研究する人間科学です。今生きている人々だけではなく、死者も入りますし、これから生まれてくる子供たちも入ります。またペットも含まれます。社会心理学に近い文科系の分野です。今回は、グループ・ダイナミクスについて簡単に説明します。これからご紹介していく様々な言葉や活動の背後にはいつもグループ・ダイナミクスの考えがあるからです。

グループ・ダイナミクスは、研究者自身が、様々なコミュニティや組織といった現場に入り込み、現場の当事者と一緒に現場の改善を行っていく実践的な学問です。改善と言いますが、何が改善になるのかということも現場で現場の方々と一緒に考えていきます。

グループ・ダイナミクスのもっともユニークな点は、心の扱い方です。心は個人の胸や頭にあるのではな

く、人と人との間にあると考えます。グループで過ごしていると、そのグループに独特の雰囲気があります。雰囲気は1人1人が作り出したものですが、同時に、1人1人はその雰囲気に影響されます。グループに漂っている雰囲気を心として扱うのがグループ・ダイナミクスです。被災者と向き合うとき、被災者の悩みにしっかりと耳を傾けるのは当然です。ただ、カウンセラーであれば診断したり治したりしていきますが、グループ・ダイナミクスの場合は、被災者に寄り添いながら耳を傾けている私と被災者との間にどんな雰囲気が生まれてくるのか、それがどんな風に変わるか、変えていくことができるのかという風に考えます。

ところで、医学であれば病気の治療が進むでしょうし、工学であれば道路ができたりします。グループ・ダイナミクスは何を生み出すのでしょうか？実は、グループ・ダイナミクスが生み出すのは言葉です。私たちは言葉にとっても強く影響をうけています。ある言葉によってやる気になったり、悲しみをこらえることができたりします。そもそもよくわからない出来事が理解できるようになるのはそこに言葉が与えられたときです。

では、グループ・ダイナミクスではどんな言葉を生み出してきたでしょうか？次回からは、NVNADの活動を通して、救援・復興の現場や地域の防災の場面に向け生み出された言葉を中心に紹介していきます。

(NVNAD副理事長 渥美公秀)

大阪大学人間科学部

創立50周年記念事業

NVNADとOOS協定を結んでいる大阪大学人間科学部が今年創立50周年を迎え、12月3日と4日、大阪市中央公会堂にてシンポジウム及び記念式典を行いました。当団体も常設企画展示として、大会議室にて学生プロジェクトや吹田市社会福祉協議会、関係企業や親交の深い被災地の皆さまと並び、ブース展示をさせていただきました。



クラウドファンディングにて作成した「防災アニメももたろう」を流していると、足を止めて見入ってくださる方もおられ、良い広報活動の場となりました。

これからも協定に基づき、良い関係を育んでまいりたいと思います。50周年おめでとうございます。今後ともよろしく願い申し上げます。



防災パーク@そねちか

11月5日(土)6日(日)の2日間、大阪梅田にある曾根崎地下歩道(通称:そねちか)にて、南海トラフの津波や大雨による浸水被害などを想定した防災啓発イベント「防災パーク@そねちか」を開催しました。

実施したプログラムは、①防災ウォークラリーをはじめ、②災害食の紹介や③避難所体験コーナー、あるいは④停電時の避難移動体験や⑤大学生による防災企画コーナーのほか、⑥国土交通省による無電柱化のVR体験コーナーや、⑦あおぞら湯様による大阪市北区ジシン本の紹介コーナーなど、楽しく防災を学んだり体験できるプログラムを実施させていただきました。

今回のプログラム企画には、大阪大学の学生さんに多大なるご協力をいただきました。参加者に実施

したアンケートには「日頃からもっと関心を持つことが大切と思った」「来年も開催してほしい」などたくさんのお声をいただきました。

次回の開催については未定ですが、また関係者と協議していければと思います。最後になりましたが、今回の防災イベント開催にあたり、国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所の皆様、阪急阪神不動産株式会社の皆様、大阪市および大阪市北区役所の皆様、一般社団法人あおぞら湯の皆様、NPO法人プラス・アーツの皆様に大変お世話になりました。改めてお礼申し上げます。



親子ぼうさい教室

@無印良品グランフロント大阪店

1月22日(日)、大阪梅田にある無印良品グランフロント大阪店にて、親子を対象にした防災プログラムを実施しました。まず始めに、阪神・淡路大震災や熊本地震など被災地の様子を写真で紹介したあと、地震をテーマにした防災クイズにチャレンジしてもらいました。そして後半は、牛乳パックを使ったホイッスル作りのワークショップを実施しました。初めての試みで手探り状態でしたが「とても楽しく参加できた」「防災について色々と学べた」などの感想を参加者からいただき、今回の開催目的を達成することができました。当団体にとっても、都市部での防災啓発の必要性を改めて感じる貴重な機会となりました。会場の提供、ならびに広報にご協力いただきました無印良品グランフロント大阪店の皆さまに御礼申し上げます。



小学生のぼうさい探検隊 マップコンクール



わがまち再発見賞を受賞した「レックス探検隊」のマップ

12月5日(月)、損保会館(東京)にてマップコンクールの本審査会が開催され、審査委員として出席してきました。コロナ感染の影響により、マップの応募数はコロナ前に比べ少なくなっているものの、それでも全国の小学校・子ども会・児童館など411団体から1,179作品が届きました。その全作品の中から事務局の審査などを経た17作品について、文部科学大臣賞や消防庁長官賞など、9つの入賞作品を選定していきます。

当団体も「わがまち再発見賞」として、自分のおじいちゃんおばあちゃんが危険な目に合わないようという孫目線でマップを作成した滋賀県の団体「レックス探検隊」を選ばせていただきました。コロナが収束し、一日も早く通常の地域活動が出来ることを願っております。

KSN交流会

K S N
(関西学院大学、西宮市社会福祉協議会、NVNADの3者が主催)

KSN主催で、西宮市内に県外避難されているご家族を対象に交流イベントを開催しました。

～交流会～

11月9日(水)、西宮市社会協議会の「ふれぼの」にて、ランチ会を開催しました。今回は保護者の皆さんに集まっていただき、お弁当を食べながら震災当時のことをふりかえり、楽しい交流の時間を持たせていただきました。

～クリスマス会～

12月16日(金)には、関学会館にて恒例のクリスマス会を開催しました。今回も関西学院大学関先生のゼミ生が中心となり、伝言ゲームやサンタさんの登場など、楽しい交流プログラムを企画・実施していただきました。時間が過ぎるのもあっという間でしたが、1年ぶりに顔を合わせる参加者もいて、このような交流の場の必要性を改めて感じました。



子ども防災クラブ



1月28日(土)高木小学校にて、第2回子ども防災クラブの活動を行いました。今回は「真冬の避難体験」と称し、暖房器具が使えない寒い避難所で、どのようにすれば暖かく過ごせるかをみんなで考えました。

まずは3チームに分かれ、自宅にあるアイテムで寒さを防ぐ方法を話し合い、チームごとに発表してもらいました。そして第二部は体験コーナーとして、段ボールや新聞紙・ブルーシートやサランラップ・アルミホイルなど、実際に家にあるもので寒さをしのげるようにチーム別に製作してもらいました。箱にビニールを貼り付けて窓を作ったり、大きいブルーシートを切り裂いて被ったりという子どもならではの柔軟な発想もあり、それぞれの工夫が生きた活動となりました。どのように行動すれば有効かを考えてみるという経験が、今後何かのときに役に立つと嬉しいです。ご協力くださった学生リーダーさん、どうもありがとうございました。



グローバルビレッジフェス

11月20日(日)吹田市のグローバルビレッジ(以下、GV)津雲台にて、GV街づくり協議会主催「第2回おもしろい学(あそ)び場グローバルビレッジフェス」が開催されました。今回は、一般社団法人地域情報共創センター様、阪大謎解きサークルOUTfoX様、株式会社ライフイノベーション様とのコラボ企画として「ナゾ解きで学ぼう! 防災まち歩き」を実施し、NVNADは運営のお手伝いをさせていただきました。GV内に8カ所、OUTfoX様による仕掛けられたナゾを解きながら、GV内を回っていただくという内容でした。それぞれのナゾの回答を「未来共生災害救援マップ(災救マップ)」に入力いただくことで、楽しみながら災救マップの体験をしていただきました。

当日は天候にも恵まれ、約200名以上の皆様にご参加いただくことができました。



ご協力ください!!

トルコ地震支援のための緊急募金受付中!!

今月6日にトルコ南部で発生したマグニチュード(M)7.8の大地震で、甚大な被害が出ています。既に日本政府が今回の震災に対する支援を表明したのははじめ、全国のNGOの皆さんも支援に向けた動きを開始しています。私たち日本災害救援ボランティアネットワークも1999年8月にトルコ北西部で起こったイズミット地震の折に、スタッフが現地を訪れて支援させていただいたご縁もあって、今回の出来事に心を痛めており、再度皆さんのご協力をいただきながらトルコの被災地に支援の手を差し伸べることができないかと考えております。

今回は、京都市にある「日本トルコ文化協会」さんのご協力をいただきながらトルコとつながりを持たせていただきました。今回も「日本トルコ文化協会」さんや「CODE海外災害援助市民センター」さんをはじめ、被災地の支援に向けた活動に取り組む方々と連絡を取り合いながら、皆さんから寄せられた支援のお気持ちを届けてまいりたいと考えておりますので、ご協力よろしくお祈いします。(理事長 檜垣龍樹)

※銀行口座
三井住友銀行 西宮支店
(普) 7022170
名義 NVNAD海外支接口

※郵便局
口座番号
00950-3-150768
名義 NVNAD海外支接口

なお、物品等の受け付けはしておりません。また、募金全体の20%を上限として、支援のための間接的な経費に充てさせていただきます。

Nうごき NVNADの活動をお知らせするコーナーです (2022年11月~2023年1月)

11月	5~6日	防災パーク@そねちか(大阪市北区)
	9日	KSNランチ会(西宮市)
	14日	日赤奉仕団防災講演会(西宮市)
	17日	ニュースVol.132発行
	20日	阪大グローバルビレッジ防災まち歩き(吹田市)
12月	26日	災害ボランティア養成講座(大阪府岬町)
	3~4日	大阪大学人間科学部創立50周年ソサエティ(大阪市中之島)
	5日	第19回小学生ぼうさい探検隊本審査会(東京都)
	10日	おやこ防災講座(西宮市)
	16日	KSNクリスマス会(西宮市)
	17~18日	熊本訪問(人吉市・球磨村・益城町)
1月	21日	防災講座(東京都)
	22~23日	野田村訪問(岩手県)
	10日	近畿ろうきん講座(加古川市)
	14日	災害ボランティア養成講座(西宮市)
	17日	1.17事業
	21日	災害ボランティア養成講座(西宮市)
	22日	無印良品グランフロント大阪店親子防災教室(大阪市)
	28日	第2回子ども防災クラブ(西宮市)
30日	近畿ろうきん講座(三田市)	
31日	ひょうごん賀詞交歓会(神戸市)	



Nごよみ 2~3月の予定・講演などのスケジュール

2月	4日	災害ボランティアセンター設置訓練(西宮市)
	10日	災害ボランティア養成講座(大阪府豊能町)
	11日	ぎすなコンサート(西宮市&岩手県野田村オンライン交流会)
	12日	防災マップ作成会(尼崎市)
	17日	ニュースVol.133発行
	18日	おやこ防災講座(西宮市)
	19日	災害ボランティア養成講座(大阪府田尻町)
		ココロープ「手作りの会」(西宮市)
	23日	防災マップ作成会(尼崎市)
	26日	大阪マラソン(大阪市)
3月	4日	防災イベント(西宮市)
		第3回子ども防災クラブ(西宮市)
	10日	防災講演会(西宮市)
	11日	野田村訪問(岩手県)
	27日	災害ボランティア養成講座(東大阪市)
	通常理事会	



～会員・寄付者・募金者のみなさま～

(2022年11月1日～2023年1月31日)

■会員のみなさま

個人正会員：「継続」松野博

個人賛助会員：「継続」中川純子

■寄付者のみなさま ※ココロープ宛のご寄付も含まれます。

風花雪月Snow、ひでぼー、古塚純枝、ケロリン、花田裕二、masutaku、大塚黄司
井上光海、中川純子、朝井利彦、ハリソン正雄、GOOD LUCK!、荒木正澄

株式会社NIコンサルティング、スイカバタケノナカマタチ

オリンピック神戸北保育園、ヤフー(株)、近畿ろうきん、ソフトバンク(かざして募金)

■募金者のみなさま ナカヤマヨシユキ

(順不同、敬称略)

ご支援、ご協力ありがとうございました。

なお、お振込みくださった方につきましては、振込名でご紹介させていただきましたのでご了承下さい。



OSAKA MARATHON 2023



来たる2月26日(日)、大阪マラソン2023が開催されます。
当団体をパートナーに選んでくださったチャリティランナーさんもそれぞれが完走を目指し、頑張ってくださいます。

当団体も微力ながら総力を結集して応援する所存です。皆さまも、是非ともスタート地点・沿道・ゴール地点での声援をよろしくお願いします!!!

当団体のチャリティランナーさんご紹介

ケロリンさん



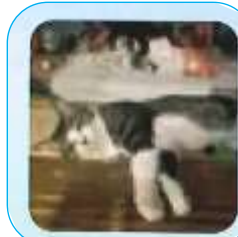
花田裕二さん



masutakuさん



大塚黄司さん



井上光海さん



編集後記

今年の冬は日本海側を中心に、至るところで豪雪となっています。これはもう雪害といったレベルかと思えます。屋根に積もった雪下ろしの作業中に、毎年のように屋根から転落して命を落とされたり、ケガをされる方があとを絶ちません。例えば、ドローンなどを活用して人には害のない融雪剤を空から散布するなど、人が屋根に上がらずとも屋根から雪を安全に下せる工夫が、これからは必要になってくるのではないのでしょうか。(H. T)

認定特定非営利活動法人 日本災害救援ボランティアネットワーク [NVNAD]

〒662-0853 兵庫県西宮市津田町3-43 TEL 0798(34)9011/FAX 0798(34)9022

http://www.nvnad.or.jp/ 発行人：檜垣龍樹